令和3年度事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人アットマークリアスNPOサポートセンター

I. 事業

【助成及び委託事業】

1. 東日本大震災被災3県の沿岸NPO支援組織のネットワーク化

助 成 元:タケダ・いのちとくらし再生プログラム第2期自主・連携事業

(タケダ薬品×日本NPOセンター)

実施期間:令和3年4月~令和3年6月

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和2年度事業期間3カ月延期)

(1) 事業概要

被災地の住民への支援の持続可能性を高めるためにも、NPOを対象にサポートする仕組みの充実と、NPO支援組織自体の強化が必要である。また同じような被害を受けた地域間の連携を促進することにより、支援活動のあり方の研修や経験交流を通じて、相互連携の機会が生まれ、新たな価値創出のつながると考える。

本申請事業では、県域、市町村域を超えた支援組織のネットワーク化を行うことで、より質の高いNPO支援が継続し、地域復興の支え手となる事を目的に実施する。

- (2) 事業内容
 - ① 勉強会の開催 [対象:業務担当スタッフ]

支援組織の事業、運営に関わるスキルを高める、知識を深める(経営責任者の参加も可能)

- ▶ NPO支援における基本スキルの向上研修
- ▶ NPOの運営についての基礎と応用研修
- ▶ NPOの各分野に関する研修 など

※手法については座学にとどまらず、外部研修や視察など現場を離れての研修や参加組織間 の現場視察なども検討する。

- ② リンクアップ会議の開催 [対象:代表・事務局長(経営責任者)] 支援組織の経営のあり方やビジョン、NPOを取り巻く全国的な環境整備等について議論 する
 - ▶ 各地のNPOの現状や課題についての情報交換と解決策の検討をする。
 - ▶ NPOに関するトピックに対する学習と対応の検討をする。
 - ▶ 震災復興に関わる課題やNPOを取り巻く課題についての提言を行う。
 - ※日本NPOセンターが実施の「CEO会議」等の事業にも積極的に参加を検討する。
- ③ 視察研修 [対象:代表・事務局長(経営責任者)]

全国に目を向けNPO支援の様々な方法や考え方について実際に足を運んで学び、知見の交換を行う。

④ 復興NPOフォーラムの開催 [対象:NPO、行政、企業]

対象のエリアで活動するNPO等を対象としたフォーラムを開催する。経験交流、事例報告、トピックなどを通じて、学習すると共に連携を生み出す機会として開催する。また、本企画はNPO支援組織による実践の場とするために、実行委員会を設置して開催する。

毎年実施することにより、エリアの拡大はもとより、その内容や質の向上、参加者数の拡大などを実現する。

- (3) 実施内容
 - ① とうほく NPO フォーラム in 南相馬 2020 を開催した。

開催日時:令和3年5月26日(水)11:00~18:00

会 場:ZOOM ウェビナーによる配信

参 加 者:117名(実行委員会・事務局は含まない) 《プログラム》

Section0《基調講演》岡本全勝 氏

テーマ:復興プロセスから見た地域未来

Section1《NPO と地縁組織》出会って変わったこと、変わらなかったこと。

《登壇者》平塚勇気 氏 一般社団法人日本カーシェアリング協会

コミュニティ・サポート事業部事業部長

菅原辰雄 氏 宮城県南三陸町入谷地区林際カーシェア会事務局長 《コーディネーター》高田篤 氏

一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム事務局長

Section2《NPO と行政》関わりをどう活かすか~役割と可能性~

《登壇者》高橋由佳 氏 一般社団法人イシノマキ・ファーム代表理事

門馬和夫 氏 南相馬市長

《コーディネーター》横田能洋 氏

特定非営利活動法人茨城 NPO センターコモンズ代表理事

Section3《NPOと地域》持続的な協働をめざして

《登壇者》田中雅子 氏 こども∞感ぱに一代表理事

菅野道生 氏 岩手県立大学社会福祉学部社会福祉学科准教授

《コーディネーター》佐藤賢

気仙沼まち大学運営協議会 (フォーラム実行委員)

《クロージング》連携の先に期待するもの

吹田博史 氏 武田薬品工業株式会社 グローバルコーポレートア フェアーズ グローバル CSR & パートナーシップス トラテジー ジャパン CSR ヘッド

田尻佳史 氏 特定非営利活動法人日本 NPO センター 常務理事 (各分科会の報告から)

詳細は当法人のホームページをご参照ください。

https://rias-iwate.net/npo-forum-2020-report/

② リンクアップ会議を開催した。

支援組織の経営責任者(CEO)を対象に組織経営のあり方をはじめ、全国のNPOを取り巻く環境の整備等についての検討会議を実施した。(年5回)

第 12 回リンクアップ会議(※昨年度から引き続き)

開催日時:令和3年6月23日(水)10:00~16:00

会 場:マリオス 18F 185 会議室・186 会議室

内 容:とうほく NPO フォーラム in 南相馬 2020 ふりかえり/

NPO サポートリンクの在り方

参加団体:9団体/9名(オンライン参加含む)(事務局は含まない)

③ 事務局会議を実施した。

本事業を円滑に実施するため定期的に開催した。

年1回(オンライン会議含む)

2. 東日本大震災被災3県の沿岸NPO支援組織のネットワーク化

助 成 元:タケダ・いのちとくらし再生プログラム第2期自主・連携事業

(タケダ薬品×日本NPOセンター)

実施期間: 令和 3 年 11 月~令和 4 年 10 月 (1 年継続)

(1) 事業概要「継続事業の目的」

NPO サポートリンクで培った地域間連携による NPO 支援ネットワークを基盤とし、各地で活動する NPO の力量形成へ向けた支援展開と、NPO を支援する NPO 支援組織間の更なる連携と支援力向上を目指し、以下の目的を掲げて事業を展開する。

- ① NPO をサポートする仕組み、支援力の更なる向上を目指す。
- ② NPO サポートリンクのネットワークを活用し、地域で活動する NPO の課題解決力向上と連携力の強化を図る。
- ③ 新たな社会変化に対応するために必要な情報流通ネットワークを構築する。
- (2) 事業内容
 - 地域の NPO 向け勉強会・セミナー 「対象: NPO 等」

概 要 組織基盤強化研修会・セミナー

内 容 「テーマ案〕

- ▶ 組織マネジメント・人材育成・広報力強化・業務改善・資金力強化等
- ▶ NPO サポートリンク参画各団体が地域に応じた内容でプランニングし、開催

- ▶ 各地において開催される研修会のテキスト等アウトプットの共用、蓄積
- ➤ 研修会等の企画提案に関しては NPO サポートリンク内において検討し資金提供の可 否の決定
- ② 東北被災地 NPO の調査・研究事業 「対象: NPO 等]
 - 概 要 震災から 10 年を経過した東北被災地で活動する NPO の現状と課題を調査 し、課題解決のためのケース検討

内 容

- ▶ 東北被災地の NPO を対象とした現状・課題感の調査
- ▶ 東北被災地の NPO が抱える課題対応ケース検討会議の開催
- ▶ NPO 支援センター等への課題解決アイデア等の提供
- 課題解決アイデアの蓄積・成功事例。失敗事例の蓄積
- ③ とうほく被災地の NPO を支援する新たな仕組みの創出 [対象: NPO、行政、企業] NPO を支援する情報ネットワークの構築

概要

- ▶ 東北の NPO に対して経営と事業の両面に対しての有益な情報の流通促進
- ▶ 地域(支援センター)ごとの課題感インタビュー、解決事例アイデアインタビューを 行い、WEB サイトを活用した NPO 向けの情報発信
- ▶ NPO サポートリンクの活動周知とネットワーク認知向上のための情報発信

内容

- WEB サイトを活用した情報発信
- オンラインサロンの開催
- ▶ 情報共有 MTG・相談会
- ▶ オンラインテーマトーク
- ▶ NPO、行政、企業等からゲストスピーカーを招きしてトークセッションを開催
- 人財、資金、事業などのテーマを設定し定期的な相談会、意見交換会を開催
- ④ リンクアップ会議(とうほくCEO会議)[対象:代表・事務局長(経営責任者)]

概要

- ▶ 東北の NPO が自分たちの目線で《東北 NPO の考える公共》について展望
- ➤ 組織経営のあり方をはじめ、全国のNPOを取り巻く環境の整備等についての検討会 議

内 容

- ➤ 各地のNPOの現状や課題についての情報交換と解決策の検討
- ▶ NPOに関するトピックに対する学習と対応の検討
- ▶ 震災復興に関わる課題やNPOを取り巻く課題についての提言
- ⑤ NPO 支援センタースタッフ研修会「対象:業務担当スタッフ」

槻 婁

- ▶ 支援事業を行なっている NPO が本事業に関わり、自身の組織力 UP
- ▶ 支援センターの業務全般のスキルアップとNPO運営についての理解促進

内容

- ▶ NPO支援における基本スキルの向上研修
- ▶ NPOの運営についての基礎と応用研修
- ▶ NPOの各分野に関する研修
- ⑥ とうほくNPOフォーラム [対象:NPO、行政、企業]

概要

▶ 東北における NPO の認知向上と信頼性の向上

内 容

- ▶ 対象のエリアで活動するNPO等を対象としたフォーラムを開催
- 経験交流、事例報告、トピックなどを通じて、学習すると共に連携を生み出す機会として開催
- ▶ NPO支援組織による実践の場とするために、実行委員会を設置して開催

(3) 実施内容

① リンクアップ会議を開催した。

支援組織の経営責任者(CEO)を対象に組織経営のあり方をはじめ、全国のNPOを取り巻く環境の整備等についての検討会議を実施した。(年5回)

▶ 第13回リンクアップ会議を行った。(※昨年度から引き続き)

開催日時:令和3年12月16日(水)10:00~16:00

会 場:マリオス 18 F 185 会議室・186 会議室

内 容:今年度事業の説明/実行体制・役割分担等について/スケジュールの共有 参加団体:9団体/9名(事務局は含まない)

- ② オンラインサロンを実施した。
 - ➤ 若者支援現場が考える、支援に必要なこと

開催日時: 令和3年11月30日 10:00~11:30

参加者:株式会社 RyuPlus の上路勝彦さん

認定特定非営利活動法人 Switch 三上綾香さん

特定非営利活動法人ビーンズふくしま 江藤大裕さん

▶ 障がいのある児童、若者を支援する現場が抱える悩みや問題は何ですか?そこから見える課題の対応策を一緒に考えましょう

開催日時:令和3年1月24日(月)10:00~11:30

参加者:特定非営利活動法人障がい者自立センターかまいし

ライトハウス担当 大関香織さん、佐々木弥生さん、早坂麻理さん(釜石市)

一般社団法人かもみ~る 小原 美佐子さん (気仙沼市)

特定非営利活動法人きぼう 新妻 直恵さん(南相馬市)

「サポート」

特定非営利活動法人ピースジャム(気仙沼まち大学) 佐藤賢さん

一般社団法人南相馬パブリックトラスト

(南相馬市市民活動サポートセンター) 原田淳子さん

- ③ 事業進捗共有 MTG を行った。
 - ▶ 開催日時:令和4年2月21日(月)11:00~12:00
 - ▶ 開催日時:令和4年3月15日(月)14:00~15:00
- ④ 事務局会議を行った。

本事業を円滑に実施するため定期的に行った。

1回(オンライン会議含む)

3. NPO のための IT 支援事業

助 成 元:ファーウェイ東日本プロジェクト助成自主・連携事業

(ファーウェイジャパン×日本NPOセンター)

実施期間:令和3年2月~令和3年12月

(1) 事業概要

東日本大震災被災地域において今後も重要な役割を担う NPO 等の事業基盤や経営基盤を強化し、課題解決のための事業を円滑に進めるために ICT ツールの導入・活用をサポートするための事業を展開する。

その内容については、・組織内における ICT 活用 ・事業実行時の ICT 活用 ・情報発信受信 / ウハウ の3分野を想定しており、セミナー・勉強会の開催、コンサルティングを含む伴走支援、オンラインイベントの開催サポートなどを行う。

- (2) 事業内容
 - NPO 向けの ICT 活用セミナー
 - ② NPO 向け ICT 活用コンサルティング
 - ③ オンラインツール活用に関する情報発信
 - ④ オンラインセミナー・WEB 会議開催支援
- (3) 実施内容

① NPO向けのICT活用セミナーの開催今回対象とした岩手県沿岸地域のNPOは東日本大震災をきっかけに立ち上がった団体が多く、10年が経過した今、地域の課題も多様化している中で団体内の体制やビジョン・ミッションなど変化の時を向かえている。そこでNPO法人の基礎や団体経営、情報発信とICTの活用を絡めながら講座を12回開催し、のべ145人の参加があった。

回	講座開催日程	曜日	時間	講座内容	参加者人数
1	8月24日	火曜日	13:30-14:30	NPOとは、そしてその社会的役割(パート1)	8
2	9月16日	木曜日	13:30-14:30	ホームページを活用した情報発信	10
3	9月21日	火曜日	13:30-14:30	NPOとは、そしてその社会的役割(パート2)	18
4	9月29日	水曜日	13:30-14:30	NPOのためのファンドレイジング	10
5	10月7日	木曜日	13:30-14:30	NPO法人の設立と手続き、そして運営のポイント(パート1)	8
6	10月19日	火曜日	13:30-14:30	NPOとして考える経営	14
7	10月28日	木曜日	13:30-14:30	NPO法人の運営のポイント	16
8	11月4日	木曜日	13:30-14:30	事業計画と予算の作成について	14
9	11月16日	火曜日	13:30-14:30	事業での情報発信	14
10	11月25日	木曜日	13:30-14:30	活動資金と調達法について/資金獲得	15
11	12月6日	月曜日	13:30-15:40	NPOとは、そしてその社会的役割(パート1)/ホームページを活用した情報発信	6
12	12月9日	木曜日	13:30-15:00	ICTリテラシー	12

- ② NPO 向け ICT 活用コンサルティング5 団体に対し、ICT関連を中心にコンサルティングを行った。
- ③ オンラインツール活用に関する情報発信 団体のホームページを活用し活動について情報の発信を行った。 https://rias-iwate.net/
- ④ オンラインセミナー・WEB 会議開催支援1 団体に対し、支援を行った。

4. 被災者支援コーディネート事業

委 託 元:特定非営利活動法人いわて連携復興センター

実施期間:令和3年4月~令和4年3月

(1) 事業概要

東日本大震災に伴う避難生活の長期化や、災害公営住宅等への移転など、被災者を取り巻く生活環境が変化する中で、被災者が安定的な日常生活を営むことができるように、被災者の円滑な生活再建の支援、心のケア、生きがいづくりによる「心の復興」やコミュニティ形成の促進等、各地域の復興の進展に伴う課題に対応した支援活動を総合的に支援することを目指す。

(2) 事業内容

- ① 被災地域の現状・課題、個別の支援ニーズ等の把握及び整理
- ② 被災地域の課題や個別の支援ニーズに対して、多様な活動主体による支援策の実施のためのコーディネートの実施(ニーズとリソースのマッチング)
- ③ 1つの市町村内や市町村の区域を越えた、行政とNPO及び企業等の多様な活動主体間の 連携、協働体制の構築
- ④ 各地域の課題や取組の分析及び被災地域全体への波及

(3) 実施内容

- ① 釜石地域のNPO等を訪問し、活動の中から被災地域の現状・課題を把握し、課題シート に整理し、いわて連携復興センターに報告した。
- ② 被災地の課題や個別の支援ニーズに対し、いわて連携復興センターの地域コーディネーターと連携し支援策を実施した。
- ③ 陸前高田市、大船渡市、釜石市、大槌町、山田町、宮古市の各地域の調整員といわて連携 復興センターの地域コーディネーターによる活動報告及び課題やニーズの共有を行った。 (月1回計12回)
- 極前高田市、大船渡市、釜石市、大槌町、山田町、宮古市の各地域の調整員といわて連携 復興センターの事業に関わるメンバーを対象とした学びあう会に参加した。 (計3回)
- 5. 生活再建移行期被災者支援連絡員事業

委 託 元:釜石市

実施期間:令和3年4月~令和4年3月

(1) 災害復興公営住宅巡回訪問

支援連絡員が災害復興公営住宅を週2回巡回し、住民の在宅・不在確認(安否確認)、 普段との違いが無いか、設備等各種破損等が無いか確認した。

▶ 復興公営住宅巡回数 63,019回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
釜石	2,300回	2,309回	2,276回	2,451回	2,291回	2,265回	2,447回	2,271回	2,256回	2,096回	2,060回	2,403回	27,425回
平田	423回	418回	397回	393回	389回	393回	381回	394回	468回	385回	313回	387回	4,741回
小佐野	99回	121回	97回	95回	96回	93回	96回	92回	98回	96回	92回	96回	1,171回
中妻	796回	1,023回	873回	884回	888回	898回	917回	895回	902回	905回	894回	920回	10,795回
鵜住居	1,260回	1,262回	1,266回	1,265回	1,436回	1,268回	1,254回	1,257回	1,247回	1,257回	1,238回	1,239回	15,249回
唐丹	303回	314回	308回	315回	310回	314回	306回	310回	361回	287回	229回	281回	3,638回
総計	5,181回	5,447回	5,217回	5,403回	5,410回	5,231回	5,401回	5,219回	5,332回	5,026回	4,826回	5,326回	63,019回

(2) 住民からの相談受付

復興公営住宅に居住する住民から各種相談を受け付け関係各所に繋ぎ、解決を図った。

▶ 相談受付数 49件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
釜石	1件	5件		1件	3件			3件	2件	2件	2件	3件	22件
平田												1件	1件
小佐野			1件								1件		2件
中妻			1件		1件	1件	2件			2件			7件
鵜住居	1件			1件	1件		4件			1件	4件	1件	13件
唐丹			1件				1件					2件	4件
総計	2件	5件	3件	2件	5件	1件	7件	3件	2件	5件	7件	7件	49件

6. 十砂災害防止法基礎調查(住民意識調查)委託事業

委 託 元:岩手県沿岸広域振興局

実施期間:令和3年7月~令和4年3月

新型コロナウイルスの影響で住民説明会は実施しなかったが、郵送による意識調査の業務を 補助し、業務等についての提言を行った。

【自主事業】

- 1. 実施期間:令和3年4月~令和4年3月
- (1) NPO支援センター事業
 - ① 障がいのある子ども向けプログラミング講座

概要

特定非営利活動法人障がい者自立センターかまいしが運営する障がいのある子どもの居場所であるライトハウスに通所している子どもたちを対象にプログラミングコンテンツを通して、タブレット操作に慣れること、トライ&エラーの体験を目的に実施した。 内容

- ➤ Hour of Code を活用したプログラミング講座を実施した。(4回)
- プログラミング講座実施に伴う打ち合わせを実施した。(5回)
- ② 釜石地域で活動するNPO等を訪問し団体活動の状況を把握及び相談対応を行った。 (随時)
 - ▶ のべ60団体

※被災者支援コーディネート事業と合わせて実施した。

- ③ 助成金情報や講座、イベント情報等をホームページ・Facebook・メール等を活用し情報発信を行った。(随時)
 - ▶ メール:66件
 - ▶ ホームページ・Facebook:55件
- ④ 釜石地域で活動するNPOや行政などの情報共有や活動に必要なスキルアップを目的とし に釜石地域まちづくり連絡会議の開催(月1回第2水曜日)
 - ▶ 7回開催した。(新型コロナウイスル感染拡大防止の影響により中止5回)
- 2. NPO のためのオンライン活用セミナー開催及び伴走支援
 - (1) NPO 活動交流センターより協力依頼

新型コロナウイルス感染症の拡大により、活動の休止する NPO 法人が多かった事からオンラインツールの活用できる様釜石市、大船渡市、陸前高田市の NPO 法人を対象にセミナーの実施及び伴走支援を行った。

① 開催日時:令和4年1月26日 13:00-15:00

会 場:みんなの家

内 容:基礎編(オンラインコミュニケーションとファイル共有オンラインコミュニケーションとは/zoomの使い方/クラウドファイル共有サービスについて)

講師: 鹿野順一 @リアス NPO サポートセンター代表事理

参加者:2名/2団体

② 開催日時:令和4年2月4日 13:30-15:30

会 場:大船渡市防災観光交流センター(おおふなポート)

内 容:基礎編(オンラインコミュニケーションとファイル共有オンラインコミュニケーションとは/zoomの使い方/クラウドファイル共有サービスについて)

講師: 鹿野順一 @リアス NPO サポートセンター代表事理

参 加 者:8名/4団体

③ 開催日時:令和4年2月9日(水)13:30-15:30

会 場:大船渡市市民活動支援センター及びオンライン

内 容:実践編(コミュニケーションとファイル共有を体験 Zoom を使っての会議体験/ドロップボックスを使ってファイル共有など)

講師: 鹿野順一 @リアス NPO サポートセンター代表事理

参加者:5名/4団体

④ 開催日時:令和4年2月16日(水)13:30-15:30

会 場:みんなの家及びオンライン

内 容:実践編(コミュニケーションとファイル共有を体験/Zoom を使っての会議 体験/ドロップボックスを使ってファイル共有など)

講師: 鹿野順一 @リアス NPO サポートセンター代表事理

参加者:8名/4団体

- (2) 団体伴走支援・・・3団体
 - ① 特定非営利活動法人まぁむたかた
 - ② 特定非営利活動法人りくカフェ
 - ③ 特定非営利活動法人障がい者自立センターかまいしライトハウス

II 事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係る事業

	T	I	1			
事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	事業費 の金額 (千円)
住民の地域社会に対する NPO活動の支援に関す る事業	東日本大震災被災3県の 沿岸NPO支援組織のネ ットワーク化	令和3年4月~令 和3年6月	釜石市内	2人	市内NPO団 体等	1,105
住民の地域社会に対する NPO活動の支援に関す る事業	東日本大震災被災3県の 沿岸NPO支援組織のネ ットワーク化	令和3年11月~ 令和4年10月	釜石市内	2人	市内NPO団 体等	1,814
住民の地域社会に対する NPO活動の支援に関す る事業	NPO のための IT 支援事 業	令和3年2月~令 和3年12月	釜石市内	2人	市内NPO団 体等	2,801
住民の地域社会に対する NPO活動の支援に関す る事業	被災者支援コーディネー ト事業	令和3年4月~令 和4年3月	釜石市内	2人	市内NPO団 体等	896
行政団体・市民団体等の 業務受託に関する事業	生活再建移行期被災者支援連絡員事業	平成3年4月~令和4年3月	釜石市内	9人	市内仮設住宅 団地及び復興 公営住宅の住 民等	28,810
まちづくりの調査研究事 業に関する事業	土砂災害防止法基礎調査 (住民意識調査)事業	令和3年7月~令 和4年3月	釜石市内	3人	釜石市内の住 民等	4,323
住民の地域社会に対する NPO活動の支援に関す る事業	NPO支援センター事業	令和3年4月~令 和4年3月	釜石市内	2人	市内NPO団 体等	_
住民の地域社会に対する NPO活動の支援に関す る事業	NPO のためのオンライ ン活用セミナー開催及び 伴走支援	令和3年4月~令 和4年3月	釜石市内	2人	市内NPO団 体等	-
					事業費合計	39,749

その他の事業 実施しなかった。